



絵本作家 ほんまちひろさんをお迎えして

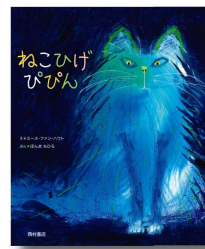
今から2年ほど前、世の中は「コロナ禍」に悩まされ、当店としてもイベントや講演が堂々と出来ない状況にありました。と言っても楽しい企画を常に考えたい私は、試行錯誤の末、親しいお客様にピアノ演奏を依頼し、ミニコンサートを開催しました。

“ピアノと朗読と絵のコラボコンサート「ある日、オリーブの丘で」”です。もともになった楽譜集『ある日、オリーブの丘で』のさし絵は、絵本作家ほんまちひろさんによるもの。ほんまさんには、会場で飾る原画をお借りしたほか、会場で投影する画像を提供していただいたり、3人の作曲家さんからのビデオメッセージも代読してもらったなど、助けていただきました。このようなコラボコンサートの試みは当店では初めてでしたが、みなさんとともに喜んでくださり、私たちが「こんなことが出来るんだ!」と嬉しい体験をさせていただきました。

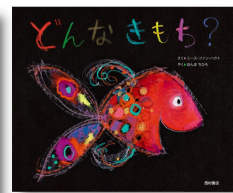
その日から、ほんまさんご自身をいつかお店にお呼びしたい!と願っておりましたが、とうとうそれが実現の運びとなりました。

この度、ほんまさんが絵本の新刊『ねこひげ ぴびん』（絵ミース・ファン・ハウト、西村書店）を出版されることから、当店で出版記念おはなし会を企画しました。もちろんほんまさんが生出演で、対するインタビュアーを務めてくださるのは、20数年来のご友人であられる絵本作家の二見正直さん。二見さんいわく「犬猿の仲…いや、竹馬の友のほんまさんから楽しい話題をたくさん引き出したいです」とのこと。

本イベントは3月23日(土)午後開催です。詳細は当店までお問い合わせ下さい。(橋村 孝子)



「ねこひげ ぴびん」
え●ミース・ファン・ハウト
ぶん●ほんま ちひろ
西村書店



「どんなきもち?」
さく●ミース・ファン・ハウト
やく●ほんま ちひろ
西村書店



「ある日、オリーブの丘で」
作曲・お話●樹原涼子・轟 千尋
春畑 セロリ
絵●本間 ちひろ
音楽之友社

お知らせ

2024 3

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3 定休日	4 紙芝居 ピッポの会 ミニ講座	5 おはなし会	6	7 定休日	8	9 おはなし会
10 定休日	11	12 大人 のための 絵本の時間	13	14 定休日	15	16
17 定休日	18	19 おはなし会	20 営業します	21 定休日	22	23 絵本作家 ほんまちひろ さんのイベント
24 定休日	25	26	27	28 定休日	29	30
31 定休日						



おはなし会

5日(火) 11:00~
9日(土) 14:00~
19日(火) 11:00~



大人のための絵本の時間

12日(火) 10:00~ **大人も絵本を楽しみたい!**

紙芝居ピッポの会ミニ講座

4日(月) 14:00~

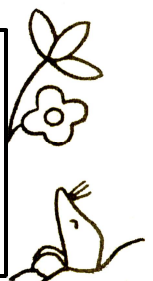
※ホームページでもぶっくだよりが読めます。「みやがわ書店」で検索するか下のQRコードで



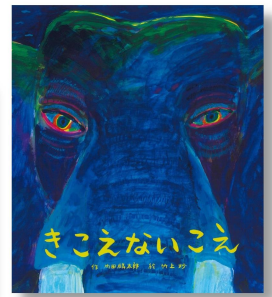
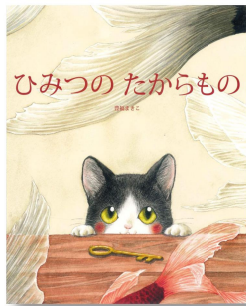
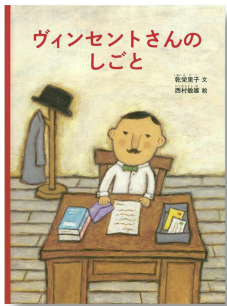
えほんと童話の店 みやがわ書店

〒519-0505 三重県伊勢市小俣町本町163(JR宮川駅前)

●電話・FAX 0596-22-4317 ●Eメール ehonbaba@gmail.com
●定休日 毎週日曜日・木曜日 ●営業時間 AM10:00~PM6:00
●ホームページ <https://www.miyagawaehon.com>



新刊紹介



「ヴァインセントさんのしごと」
乾 栄里子 文
西村 敏雄 絵
福音館書店 1,100円

「ヴァインセントむしょ」には、困っている子どもたちからたくさん手紙が届きます。今日は南の島の子どもからの手紙が選ばれました。ヴァインセントさんのしごととは？

「ひみつのたからもの」
豊福まきこ
B L 出版 1,650円

自分の好きなものを誰かと共有出来たら嬉しいけれど、自分の大切なものを人に見せるのは勇気がいります。でもネコは勇気を出してみました…

「つめて つめて」
ぶん カトリーナ・チャーマン
え ギリエルメ・カルステン
やく 木坂 涼
B L 出版 1,980円

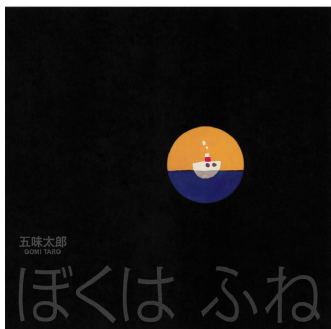
ベッドの上の動物を数え、ベッドから落ちた動物を数え…ひき算、寝る前のカウントダウン、ページの仕掛け、いろいろ楽しいにぎやかな本。

「りんごりらっぱ」
あべけんじ 作
福音館書店 1,100円

りんご、ごりら、らっぱ、つづけていうと、「りんごりらっぱ」普通のしりとより難しいです!温かい質感の絵がすてきです。

「きこえないこえ」
作 内田麟太郎
絵 竹上 妙
校正出版社 1,540円

陸から離れた沖にいてもクジラはじっと聴き続けます。人間には聞こえない低周波でゾウは話し続ける、その中身とは…



「ぼくはふね」
五味太郎
福音館書店 1,980円

水に浮かんで流されるだけでない、自分の気持ち次第でどこへでも進めることに気づいたふね。「ちょっと見方を変える」ことで広がる可能性を教えてください。



「たべてみて!」
文 マーラ・ロックリフ
絵 ジゼル・ポター・訳 福本由紀子
B L 出版 1,980円

スーパーに並んでいる野菜や果物の中に、いつの間にか仲間入りしているめずらしいものたち。ブラッドオレンジ、パッションフルーツ、ドリアン…今おいしく食べられるのもフリーダのおかげなのです。

大人コース

新刊紙芝居



「わらのうし」
八百板洋子 脚本
日紫喜洋子 絵
童心社 2,090円 12場面

貧しい老夫婦がわらをたばねて牛を作りました。そしてまっ黒いタールを、たつぷたつぷぬりました。



「おいしい ふ〜せん」
角野栄子
NHK出版 2,035円

角野さんは2001年、小俣で講演会をされた時、当店にも訪れてくださいました。

さて、この本は、そんな角野さんの88年の思い出の中から、食のこと、衣服のこと、家族のことなどを小気味よく楽しく語ってくれるエッセイです。

「魔女の宅急便」でお馴染みの角野栄子さん、今年89才です。2018年「国際アンデルセン賞作家賞」受賞。昨年、江戸川区角野栄子児童文学館「魔法の文学館」がオープン。今年、密着ドキュメンタリー映画「カラフルな魔女～角野栄子の物語が生まれる暮らし～」も完成。とてもパワフルですね!!

微笑ましい日常が、角野さんならではの感性、好奇心によって、とにかく楽しいものになっています。いつも好奇心という空気をいっぱいにしておくのだそうです。

「わたしはふ〜せんおばさん、…まだまだしばみません」

(さつき)